

目次

まえがき	刊行委員会i
------------	--------------

【論文の部】

I

ことわざと慣用句の関係について

日独両言語の類似した形式を持つ成句を中心に	伊藤 眞3
「など」の意味とそのドイツ語訳について	柿沼 義孝14
心的視点と話者指向のテーマ性	
—指示代名詞 der と関係代名詞 der をめぐって	三瓶 裕文25
自分を見つめるもう一人の自分	
—ドイツ語の再帰代名詞についての一考察—	荻野 蔵平45
デュッセルドルフのギムナジウムに通う	
日本語母語話者のインテグレーションについて	清水ベータ恵58
ドイツ語の自問自答文に関する予備的考察	山崎 祐人72
Zum Demonstrativpronomen <i>derjenige</i> als Antezedens eines Relativsatzes — aus diachronischer Perspektive —	森澤万里子80

II

Chr. トマジウス再論	赤澤 元務103
生命力を描く—初期の『ユージェント』における	
ユージェントシュティール—	古田 香織115
わたしではありません	
—晩年のクリスタ・ヴォルフ—	保坂 一夫127
E. ユンガーの『冒険心』第一稿及び第二稿における	
「驚嘆 (Erstaunen)」について	飯田 澄子138
「私」なしの自伝——イルゼ・アイヒンガー『映画と災厄』 <small>ゲーゲンヴァルト</small>	
における 現 在 の想起	小林和貴子148
類比的日本文化論の系譜とその外部	前田 良三164
immer schon は「つねにすでに」ではない。	三島 憲一176
ゲーテをめぐるある未知の人	小栗 浩193
日独交流史	酒井 府200

ファウストとプロメテウスの神殺し	
——若きゲーテの危険な反逆——	高橋 義人211
医学史から見る、カフカ『田舎医者』に描かれる「臨床」	寺田 雄介223
レッシングの宗教思想考	渡邊 直樹240
人工の青「プルシアンブルー」の奇跡、そして軌跡	渡部 重美254
Zwischen ›koten‹ und Klassik	
Zur Etymologie eines japanischen Begriffs	Mechthild Duppel-Takayama266
„Wir Halkyonier“ — Atmosphärische Heiterkeit	
in Nietzsches „Also sprach Zarathustra“	Josef Fürnkäs276
Ein ungeschriebener Teil von Goethes Autobiographie	木村 直司302
Zur Frage nach Luthers reformatorischem Bewußtsein	
bei der Infragestellung des Ablasses im Herbst 1517	松浦 純309
Das ‚Eigene‘ versus das ‚Fremde‘. Anmerkungen zu einem Topos	
nationalsozialistischer Dichtung	Ralf Schnell323

*

GEIST — Aus den Pioniertagen des Internets	Peter Kapitzka342
--	-------------------------

* *

執筆者一覧344
-------	----------

【追悼文の部】

—

岩崎英二郎先生と短歌会	平尾 浩三3
岩崎先生の〈雷〉	石原あえか8
岩崎先生の授業の思い出	板倉 歌10
岩崎英二郎先生を想う	岩波 敦子12
岩崎先生 (続)	和泉 雅人14
『心態詞』のこと	川島 淳夫16
「こわもて」の裏は	菊池 雅子18
岩崎先生の思い出	岸谷 敏子20
独文学会の救世主岩崎さん	神品 芳夫22

追悼 岩崎英二郎先生	黒岩 純一	24
色褪せない記憶	森 泉	27
強靱さと簡明さ——岩崎英二郎先生追悼	柴田 翔	29
岩崎英二郎先生の思い出	杉村 涼子	32
岩崎先生に感謝	鶴殿 博喜	35
回想の岩崎英二郎	渡辺 学	38
岩崎先生の思い出	山路 朝彦	40
いたずらっぽい笑み	山本 淳	42

二

ローテンプルクの格言	會田 素子	47
「伝説」の先生	針貝真理子	48
言葉への探究心	池中 愛海	49
岩崎先生の短歌	岩崎 佑太	50
今になって思うこと	上都 裕介	51
「機微」の人	三宅 舞	53
うつろの日々	森本 康裕	54
岩崎先生の思い出	中村 大介	56
岩崎英二郎先生追悼	谷本 知沙	57
岩崎先生の読書会の思い出	坪井 靖子	58
岩崎先生の思い出	吉村 創	59

三

三田読書会の歴史	三ッ石祐子	63
岩崎英二郎先生年譜	加藤 淳	74

* * *

執筆者一覧	108
-------------	-----